

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「メタル思想に共感できない」

テーマ：「ズれているのに、ブレのない美少女」

キャラクター

45

ストーリー

40

テーマ(設定)

50

文章力

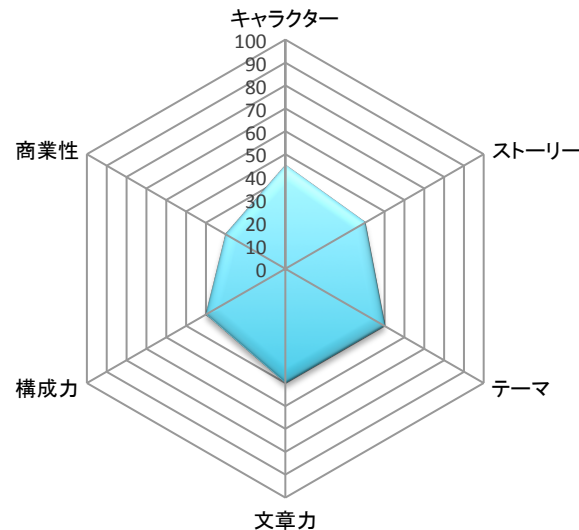
50

構成力

40

商業性

30



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・アニメが進行中とはいえさすがにジョジョネタに頼り過ぎている感が否めない。読み手を楽しませるよりも、自分が書いていて楽しいことを重視してしまっているようなイメージ。知らない人でも楽しめて、知っている人だけが少しだけクスリと笑う程度に抑えることが推奨される(知らないネタばっかり出して来てこの小説なんかやだ、と思われたいために)

・今回の作品のテーマとして、主人公がもっている異能力は一体なんであるのかという謎解き(?)にも似た要素は読んでいて非常に面白かった。この要素を更に面白くするために、いっそこの作品は三人称目線(俗に言われる神の視点)で書いてしまえばよかったのではないかと感じる。というのも、敵キャラの能力が謎である分には謎が最後まで解けなくても自然ではあるが、主人公自身の能力が謎となると主人公自身は知っているはずなので、若干読んでいる側としては「なんの能力なのかお前は知ってる筈なんだからさっさと教えてくれよ」という印象を少し受けざるを得なかった。・文章が丁寧かつ簡潔で非常に読み易い。

合計加点ポイント 0

総得点: 255 / 600

B方式総合得点: 10838 点